

いちじくの木は花を咲かせず、ぶどうの木には実りがなく、オリーブの木も実がなく、畑は食物を生み出さない。

羊は囲いから絶え、牛は牛舎にいなくなる。

しかし、私は主にあつて喜び踊り、わが救いの神にあつて楽しもう。

私の主、神は、私の力。私の足を雌鹿のようにし、私に高い所を歩ませる。

ハバクク書 3章 17 ～ 19 節

ハバククは南ユダ王国が滅亡へと向かう時代に預言者として活動しました。恐らくはそれよりも前、ヨシヤ王による宗教改革の時代に活動を始めていたと思われます。

ヨシヤは信仰の篤い王としては南ユダで最後の王でした。彼の死後、息子たちの時代に主への背信が極まり、国が滅びます。

そういう意味ではハバククは非常につらい時代を過ごしたわけです。ヨシヤ王の時代には主の言葉が尊ばれ、主を礼拝する空気

が国に蘇りました。しかしヨシヤ亡き後、王

と多くの国民は主に従わず、国には悪がはびこります。ハバククは正義が損なわれる

ことに心を痛め、「なぜ」と疑問や怒り、不満を激しく主に訴えました(一章)。

しかしハバクク書の最後は、目には何も良いものが見えず、回復の兆しも見えない

中で、「しかし、私は主にあつて喜び」とハバククが堅く主に信頼していることが告白されています。ハバククは、信仰とは目に見

える現象によるのではなく、みことばによって支えられることを示しています。

当初は問題に囲まれて不満だらけだったハバククの心は変えられました。この変化はどこから来たのでしょうか？

ハバククはみことばを聞き続けることで、主が真実で、約束を必ず守る御方であると悟りました。

「しかし、正しい人はその信仰によって生きる。」(二・四)

「信仰」とは「真実」と訳せる言葉です。

「その」は「主」のことです。つまり、「正しい人とは主の真実に支えられて生きる人」という意味です。そのことを理解したハバククは、目に見えるものではなくただ主のことばに信頼し、すべてを委ねたのです(泰)

■クリスマスと年末年始のご案内
いよいよ次週より、クリスマスを待ち望むアドベント（待降節）に入ります。今年はコロナ禍でのクリスマスシーズンです。闇に輝く光として世に來られた主イエス・キリストの恵みを思いめぐらしながら過ごしましょう。

・アドベント礼拝

11 / 29 (日)
12 / 6 (日)

13 (日)



第一礼拝、第二礼拝

アドベントクララツに点火します。

今年、イザヤ書から主の御降誕を待ち望みます。

・子どもクリスマス

12 / 13 (日) 14 時～15 時半

ケーキはありませんが、礼拝と楽しいプログラムを準備しています。

受付にかわいいチラシを用意しています。

(青年会 宇田津姉作)



・クリスマス礼拝
12 / 20 (日)
第一礼拝、第二礼拝



・クリスマスイヴ燭火礼拝

12 / 24 (木) 19 時～20 時

*インターネット配信があります。

*キャロリングは実施しません。

イヴは「聴くドラマ聖書」による聖書朗読で、聖書に記されるクリスマスストーリーに心を向けましょう(「聴くドラマ聖書」の使用については、製作団体の許可をすでに得ています)。

教会で、家庭で、それぞれの場所で主の御降誕を祝いましょう。

・年末感謝礼拝 12 / 27 (日)

第一礼拝、第二礼拝

・2021年元旦礼拝

1 / 1 (金) 11 時～12 時

*インターネット配信を行います